

動物の動きにみられる癒し効果

—動物の癒される動きを模倣した癒しツールの提案—

情報メディア学科 大島 直樹ゼミ

1022055

幅田 元気

1 はじめに

人は動物をペットとして飼育し、家族と同様にその暮らしを営んでいる。『ペットは人間をどう見ているのか』によると、2009年度時点でのペット飼育率は35.1%であり、約3人に1人の割合でペットを飼育しているという結果がある[1]。ペットを飼育する理由として、「ペットに関するアンケート2009」によれば、「癒されるから」という回答が最も多く、全体の83.4%にも上った[2]、このことから人は癒しを求めて動物を飼育していると言える。本研究では、動物が持つ癒し要素、その中でも「動き」に着目した。

本研究の目的は、動物の動きに含まれる癒しの要素を見出し、抽象的に模倣することで動物の癒し効果を高めることである。この主目的を達成するために副次目的を3つ設定した。副次目的1では、動物と人とのかかわりの歴史や動物の癒しの力について、文献を用いた調査を行う。副次目的2では、文献調査や聞き取り調査を行い、動物の癒される反応をリストアップし、アンケート調査によって、癒しにつながる動きの要素を明らかにする。副次目的3では、アンケート調査の結果を元に、癒しの度合いが高い動きを模倣したツールを制作、その癒し効果の度合いを検証する。これら3つの副次目的の結果を総合して主目的の達成を目指す。

2 動物が持つ癒しの効果

動物の癒し効果は、軽度のリラックス効果から、病気の治療までとさまざまである。これらの動物たちによるセラピー治療のことを、アニマル・セラピーと呼び現在広く普及してきている[3]。本研究で用いる癒しという言葉の定義は、後者の治療効果ではなく、軽度のリラックス効果とする。理由は、軽度のリラックス効果なら、ユーザーが気軽に使用できるツールの提案が可能であり、本研究の内容に合っていると考えたためである。

動物を模したロボットなども多く開発されている。特に産業技術総合研究所で開発された、アザラシの赤ちゃんを模倣したロボット「パロ」はギネスに認定された世界で最もセラピー効果のあるロボットである。これらのロボットの存在から、外見の類似性だけでなく、実際の動物の特徴を掴んだ動きも、動物の癒し効果を高めていることが分かった。

3 動きを模倣した癒しツール

3.1 癒される動きを導くアンケート調査

動物の癒される動きを導くアンケート調査の対象動物として、犬と猫の2種類に限定した。理由は、飼育ペット数の上位2種であり、対象者が容易に連想できるからである[4]。

アンケートは大学祭の2日間で行い、合計30名の方から回答を得た。アンケートでは、

それぞれ10個列記した動きの項目から癒される動きを選択してもらった。以下はその結果の上位3つである（表1）。

表1 犬と猫の癒される動き調査結果

犬の項目	票数	猫の項目	票数
なでるとお腹を見せる	20	丸まって寝ている	23
近づくとすり寄ってくる	19	膝の上に乗っかってくる	22
寝息を立てて寝ている	18	ねこじゃらしなどにじゃれる	19

この結果から、実際にツールへと反映させる動きを、動物が寝ている様子に決定した。

3.2 制作物の概要

制作物では、動物の動きのみを模倣することを前提としたため、外部形状はプリミティブな幾何学図形である立方体を選択した。この立方体の各頂点を稼働させることによって、立方体を拡大・縮小させ動物が寝ているときの息遣いを表現した（図1）。

以下の図は制作物のイメージである。



全体写真



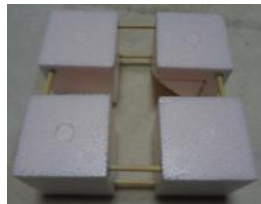
ローラーパーツ



装着写真



上面写真



上面稼働写真

図1 制作物のイメージ

立方体の各頂点にローラーパーツを取り付けた。立方体内部で凹凸をつけたギヤを回転、ローラー部分を接地させ、ローラーが凹凸部分を通るたびに頂点が連動して動く。

4 検証結果

ツールをゼミナールのメンバー15人に使用してもらい、癒されたかどうかについて4段階で評価させた。その結果、9人に癒しを感じさせられたことがわかった（表2）。

表2 ツールの検証結果

癒された	少し癒された	あまり癒されない	癒されない
3	6	4	2

5 まとめ

本研究では、動物の癒しの力を効率よく伝える手法として、動物の動きの模倣という方法を提案した。アンケート調査を行うことで、目的であった動物の癒される動きを見出すことができた。また、制作したツールを用いた検証では、使用者に癒しを感じさせることができ、癒しツールの有用性が証明できた。

参考文献

- [1] 支倉楨人, ペットは人間をどう見ているのか, 株式会社技術評論社, 2010.
- [2] ペットに関するアンケート調査2009(インターワイヤード株式会社)より, ペットを飼っていてよかったコト(複数回答可) <http://www.dims.ne.jp/timelyresearch/2009/090623/>, 参照May.21, 2013.
- [3] 川添敏弘, アニマル・セラピー, 株式会社駿河台出版社, 2009.
- [4] 内閣府・動物愛護に関する世論調査, <http://www8.cao.go.jp/survey/h22/h22-doubutu/2-1.html>, 参照Sept.22, 2013.